

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	38334
事業名	IT人材確保育成費					
評価担当課	所 属	経)経済戦略推 イノベーション			電話番号	011-211-2379
施策名	IT分野やクリエイティブ分野、健康福祉・医療分野の産業が、国					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理	○ 法定経費	○ 指定管理費
	● 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ● 補助・助成 ○ その他					

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	IT関連市場は今後も拡大が予想され、2030年には全国で45万人の人材不足の発生する見込みとなっており、北海道ITレポートにおいてもIT人材不足が最大の経営課題としている挙げられている。
	事業内容(何を実施し)	IT人材の確保・育成・定着に向けた各種取組を行う。 ①小中学生を対象とした、プログラミング体験イベントの開催 ②22歳以下が参加するプログラミング大会等への補助 ③高校生や大学生等を対象とした、プログラミング開発ワークショップの実施 ④大学生や若年層エンジニア等を対象とした、高度エンジニア発掘・育成プログラムの実施 ⑤市内企業を対象とした、高度ITエンジニアの採用経費への補助 ⑥Sapporo Engineer Baseの運営(「エンジニアが集まり、成長し、活躍する都市 さっぽろ」の実現に向けて、市内ITコミュニティの活動支援やIT人材のスキルアップに資するイベントの開催・誘致、IT人材を志す者を対象としたイベントの開催等)
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	本事業を通じて市内IT産業従業者数を増加させるとともに、高度IT人材を確保・育成することにより、IT産業の高度化・競争力強化を図っていく。
	他都市の状況	福岡市: DATA ENGINEER CATAPULT、エンジニアフレンドリシティ福岡 神戸市: Kobe x Engineer's Lab
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☒ 対象外

令和4年度決算額	24,880 千円	うち特定財源	12,410 千円	正規職員業務量	0.4 人工
令和5年度予算額	40,000 千円	うち特定財源	16,000 千円	正規職員業務量	0.7 人工
令和5年度決算額	36,085 千円	うち特定財源	4,939 千円	正規職員業務量	0.7 人工
令和6年度予算額	40,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.7 人工

指標	アウトプット活動指標1	イベント・ワークショップの参加人数				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		3,435人	2,100人	2,845人	3,000人	3,000人	3,000人
	↓						
	アウトカム成果指標1	市内IT産業従業者数				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		19,519人	19,800人	19,970人	20,100人	20,300人	20,600人
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	計画通りに推移しており、目標を達成できている。					
	アウトプット活動指標2	Sapporo Engineer Base連携団体数(賛同企				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		-	10	19	25	30	35
	↓						
	アウトカム成果指標2	市内企業への高度IT人材就職数				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		5	12	6	12	12	12
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方	活動指標については堅調に推移しており、目標を達成できているが、成果指標については令和5年度は達成率5割であった。今年度の実績を踏まえ、取組の見直しを行う。					

今年度の見直し内容	高度ITエンジニア確保支援補助金の更なる活用促進を目指し、補助対象が拡大となるよう、要件の見直しを実施した。
来年度以降の方向性	イベント参加者のアンケート結果や補助金の申請件数、IT企業からのニーズ、道・国など他団体におけるIT人材確保育成に向けた取組の実施状況などを鑑みたうえで、各種事業を適切に見直し、事業全体としてより直接的な効果、具体の人材確保を見込める取組を検討する。